

ブルーベリー高品質栽培の推進

「果樹技術普及センター」



ブルーベリーは無農薬栽培が可能で人工受粉や摘果等の作業が不要であり、健康食品や加工用途としても注目され、高齢者にも栽培しやすいため、観光農業に適する品目として期待されています。

本県のブルーベリーは平成18年頃から北杜市を中心とした観光摘み取り園の増加に伴い栽培面積が増加し、全国第14位、25.5haとなっています。

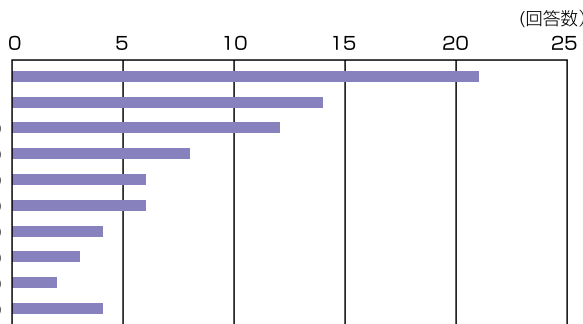
果樹技術普及センターが実施したアンケート調査によると、今後の課題については、栽培経験の浅い栽培者が多いこともあり、優良品種の導入、病虫害・生理障害対策（生育障害対策）等の栽培技術に対する課題が上位を占めました。

そこで、果樹技術普及センターでは本年度から、奨励品種の選定に向けた品種検討や講習会を開催するとともに、生育障害に対する実証ほの設置や個別巡回指導等を実施し、高品質安定生産技術の確立と普及に取り組んでいます。



今後の課題

- 高品質栽培技術 (21)
- 病虫害対策 (14)
- 優良品種の導入 (12)
- 防鳥施設の設置 (8)
- 労力確保 (6)
- 観光農業の推進 (6)
- 直売・宅配 (4)
- 加工品の開発 (3)
- 圃場整備 (2)
- その他 (4)



果樹共済への
ご加入をお勧めします。



●平成18年7月 暴風で折れたモモ



安心のネットワーク
NOSAI

- NOSAI山梨中央 TEL.055(266)4411
- NOSAI峡中・南部 TEL.055(282)0443
- NOSAI北巨摩 TEL.0551(23)1111

農業者年金について

農業者年金の保険料は月額2万円から6万7000円までの間で、1,000円単位で選択でき、経営状況などに応じていつでも見直すことが出来ます。また、一定の条件を満たす担い手は国庫補助を受けることが出来ます。納めた保険料は全額が社会保険料控除の対象となるため節税対策になります。

なお、詳細につきましては最寄りのJA、農業委員会までお問い合わせ下さい。

地球温暖化や局地的な異常気象によって災害発生リスクは年々高まっています。平成18年7月、峡東地域を襲った暴風害。19年5月、笛吹市で発生したひょう害。本年も凍霜害で、すももの結実不良が広範囲に発生しました。また、6月16日の降ひょうでは、笛吹市や山梨市のぶどう・もも等に甚大な被害をもたらしました。

果樹共済はこうした災害による減収を補てんし、農家の経営を守る国の災害補償制度です。現在、NOSAI(農業共済組合)では平成22年産の特定危険方式と総合短縮方式の加入推進を行っています。頻発する気象災害に備え、果樹共済へのご加入をお勧めします。詳しくはお近くのNOSAI(農業共済組合)までお問い合わせください。